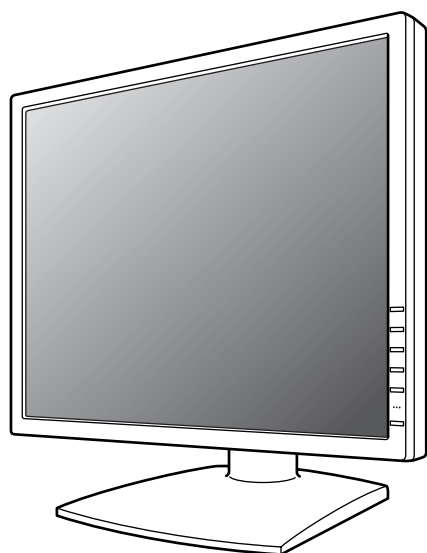
取扱説明書

液晶カラーモニター

形名 LL-203G

もくじ

		ページ
はじめに	安全にお使いいただくために	3
	付属品の確認	5
	台座の取り付け／取り外し	6
	高さ調整・角度調整	7
	各部の名前とはたらき	8
準　備	接続・電源入／切	9
	コンピュータの接続	9
	電源の接続	10
	電源の入れ方	10
	入力端子の切り換え	11
	電源の切り方	11
画面調整	画面の調整	12
	バックライトの明るさ調整	12
	表示モードの設定	13
	製品情報の確認	13
	画面の自動調整（アナログ接続時）	14
	画面の手動調整	15
補　足	お手入れ・保管・アフターサービスについて	18
	お手入れのしかた	18
	保管にあたって	18
	リサイクルについて	18
	故障かな？と思ったら	19
	アフターサービスについて	19
	お客様ご相談窓口のご案内	21
	仕様	22
	VESA規格準拠アームの取り付け方	27

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用の前に、「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。
この取扱説明書は、保証書とともに、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。

※ TFTカラー液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。また、見る角度によっては、色のムラや明るさのムラが生じる場合がありますが、いずれも本機の動作に影響を与える故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
※ 長時間静止画を表示しないでください。残像や焼き付けの原因になることがあります。
※ 輝度調整を最小にすると、見えにくいことがあります。
※ コンピュータ信号の質が表示品位に影響を与えることがあります。高品位の映像信号を出力できるコンピュータの使用をおすすめします。
※ 本機は付属品も含め日本国内(AC100V)用です。海外では使えません。

電波障害に関するご注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

正しい取り扱いをしても、電波の状況によりラジオやテレビジョン受信機の受信に影響を及ぼすことがあります。
そのようなときは、次の点にご注意ください。
　※ この製品をラジオ、テレビジョン受信機から十分に離してください。
　※ この製品とラジオ、テレビジョン受信機を別のコンセントに接続してください。
なお、詳しくは、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にご相談ください。

本書の表記について
※ 本書では、以下を総称して「Windows」と表記しています。
- Microsoft Windows XP Home Edition
- Microsoft Windows XP Professional
- Microsoft Windows 2000
- Microsoft Windows Millennium Edition
- Microsoft Windows 98
- Microsoft Windows 95

※ Microsoft、Windowsは、米国マイクロソフト社の米国、およびその他の国における登録商標です。
※ Macintoshは、米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
※ そのほか、本書で記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。
※ 本書で記載されている画面表示のイラストは、実際の画面表示とは多少異なることがあります。

お願い
※ この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口までご連絡ください。
※ お客様または第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
※ この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。
※ 付属品の形状が本書に記載の内容と多少異なることがあります。

安全にお使いいただくために

図記号について　この取扱説明書には、安全にお使いいただくためのいろいろな表示をしています。その表示を無視して、誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告　人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

 注意　人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味　（図記号の一例です。）

 記号は、**気を付ける**必要があることを表しています。

 記号は、**してはいけない**ことを表しています。

 記号は、**しなければならない**ことを表しています。

⚠ 警 告

電源コードを傷つけたり、重い物を載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりしないでください。また、加工しないでください。
電源コードを傷め、火災や感電の原因になります。

雷が鳴り始めたら、電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災や感電の原因になります。

発熱したり、煙が出たり、変なにおいがするなどの異常が起きたら、すぐに本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買いあげの販売店にご連絡ください。
異常な状態で使用を続けると、火災や感電の原因になります。

風通しの悪い場所、ほこりや湿気の多い場所、油煙や湯気の当たる場所では使用しないでください。火災の原因になります。

水などの液体がかからないようにしてください。また、クリップやピンなどの異物が機械の中に入らないようにしてください。
火災や感電の原因になります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

⚠ 警 告

アース接続をしてください。アースが接続されない状態で万一故障した場合は、感電のおそれがあります。

- アースリード線をコンセントの他の電極に挿入・接触させないでください。
- アースの接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。
また、アースを外す場合は、必ず先に電源プラグをコンセントから抜いてください。順番が異なると感電の原因となります。

⚠ 注 意

電源コードは、必ず付属のものを使用してください。付属以外のものを使用すると、火災の原因になることがあります。

電源は、AC100V(50/60Hz)のコンセントを使用してください。指定以外の電源を使用すると、火災の原因になることがあります。

電源プラグは、コンセントに直接差し込んでください。タコ足配線をすると、過熱により火災の原因になることがあります。

火災や感電を防ぐために、次のことをお守りください。
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- 夜間や旅行などで長時間使用しないときは、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源プラグや電源コードが熱いとき、またコンセントへの差し込みが緩く電源プラグがぐらついているときは、使用をやめて、お買いあげの販売店にご相談ください。

ぐらつく台の上や、不安定な場所に置かないでください。また、強い衝撃や振動を与えないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。

直射日光の当たる場所や暖房器具の近くなど、高温になる場所で使用しないでください。
発熱や発火の原因になることがあります。

硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。破損してけがの原因になることがあります。

あお向け、横倒し、逆さまにして使用しないでください。密閉した箱に入れたり、じゅうたんや布団の上に置いたり、布などをかけたりしないでください。
通風孔をふさぐと、熱がこもり、発熱や発火の原因になることがあります。

⚠ 注 意

液晶パネルを強く押したり、先のとがった物で押したりしないでください。液晶パネルに力が加わると、破損や故障、けがの原因になることがあります。

改造や分解はしないでください。また、お客様による修理はしないでください。火災や感電、けがの原因になることがあります。

健康のために、次のことをお守りください。
- 連続して使用する場合は、1時間ごとに10分から15分の休憩を取り、目を休ませてください。
- 明暗の差が大きい所では使用しないでください。
- 日光が画面に直接当たる所では使用しないでください。

移動するときは、電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続ケーブルを外してください。コードやケーブルが引っ掛かり、落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。

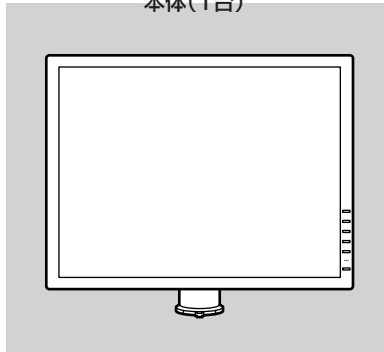
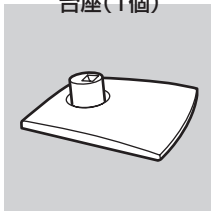
移動するときは、ディスプレイ部とスタンド部の両方をしっかりと持ってください。
ディスプレイ部だけで持ち上げると、スタンドが急に伸びたり、スタンド部が揺れて、けがの原因になることがあります。また、本機を傾けると、スタンドが急に伸びて、けがの原因になることがあります。

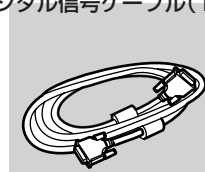
ディスプレイ部とスタンド部の間(特に取り付け部分付近)で指をはさまないようにご注意ください。

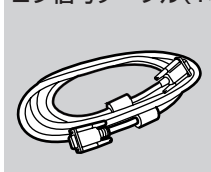
通風孔に付着したほこりやゴミはこまめに取り除いてください。内部に入ったほこりの清掃はお買いあげの販売店に依頼してください。
通風孔や内部にほこりがたまると、発熱や発火、故障の原因になることがあります。(内部の清掃費用については、お買いあげの販売店にご相談ください。)

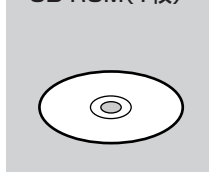
付属品の確認

箱の中に次のものが入っているか確かめてください。
万一、不足のものがありましたら、お買いあげの販売店にご連絡ください。

本体（1台）

台座（1個）

電源コード（1本）

デジタル信号ケーブル（1本）

（DVI-D24ピン－DVI-D24ピン）

アナログ信号ケーブル（1本）

（ミニD-sub15ピン－ミニD-sub15ピン）

CD-ROM（1枚）

ユーティリティーディスク
（Windows/Macintosh用）

ケーブルクランプ（1個）

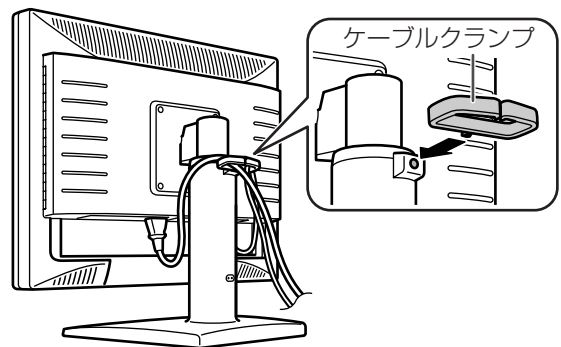
● 取扱説明書（1部）
● 集配修理サービス「修理宅配便」（有料）のご案内（1部）
● 保証書（1部）

※ 梱包箱は、輸送などに備えて保管しておいてください。

■ケーブルクランプの使い方

ケーブルクランプ（付属）を取り付けると、接続したケーブルを通して、ケーブルをまとめることができます。

! ご注意

※ ケーブルは少し余裕を持たせて通してください。
　ディスプレイ部の角度調整のときなど、ケーブルが引っ張られる場合があります。

台座の取り付け／取り外し

注意 **指などをはさまないようにご注意ください。**

! ご注意

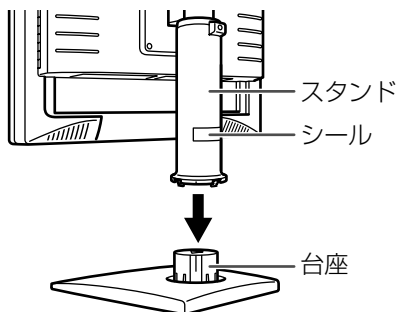
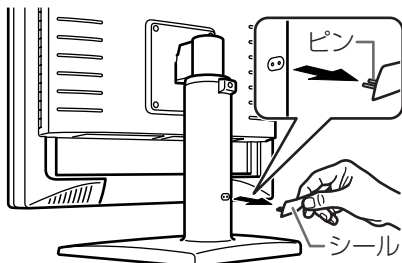
※ 台座を取り付ける／取り外すときは、液晶パネルに触れないようご注意ください。液晶パネルに力が加わると、破損の原因になります。

※ 台座がしっかりと取り付けられたことを確認してからご使用ください。はめ込みが不十分だと、本体が転倒したり、台座が落下したりするおそれがあります。

■台座の取り付け

注意 **台座の取り付けが終わるまで、シールとピンを取り外さないでください。手順を誤るとスタンドが急に伸びて、けがの原因になることがあります。**

1. 台座を水平な机の上などに置き、ゆっくりとスタンドをはめ込む。

カチッと音がするまではめ込んでください。

2. スタンドからシールとともにピンを取り外す。

! ご注意

※ 高さ調整は、必ずピンを外してから行ってください。

※ 取り外したシールとピンは輸送などに備えて大切に保管しておいてください。

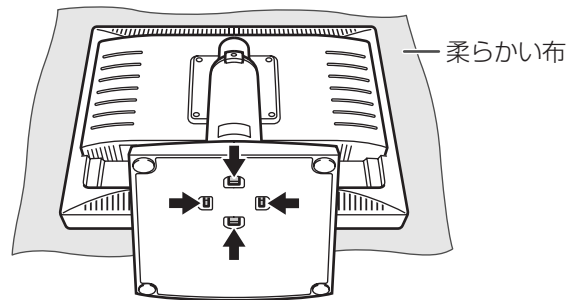
■台座の取り外し（収納時）

1. スタンドを一番短くした状態にする。（7ページ）

2. スタンドに、保管しておいたピンを取り付ける。

（ピンの取り付け位置は、前記のイラストを参照）

3. 柔らかい布などを水平なところに敷き、表示部を下向きにしてゆっくりと置く。

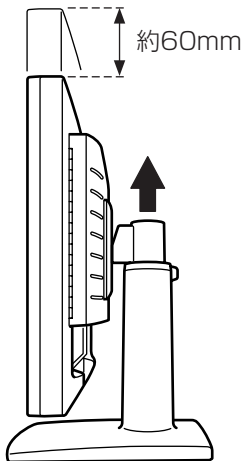
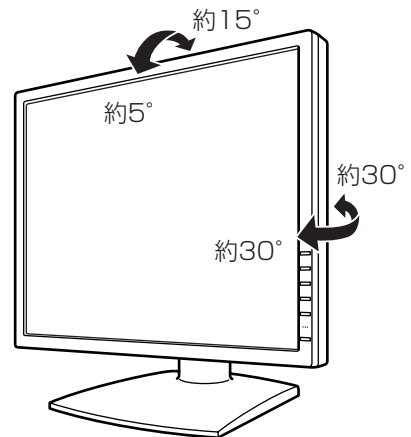
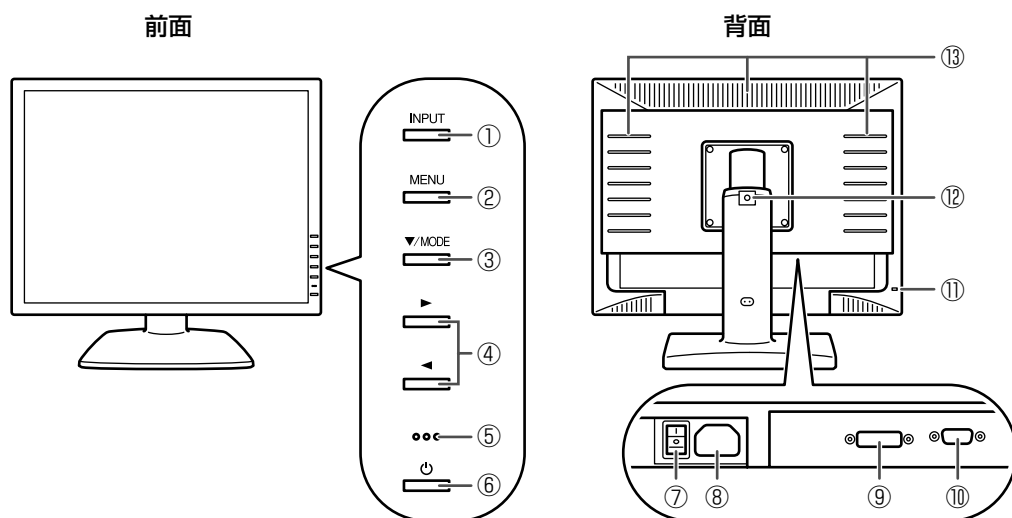
4. 台座の底にある4箇所のレバーを内側につまみながら、台座を手前に引く。

高さ調整・角度調整

指などをはさまないようにご注意ください。

! ご注意

※ ディスプレイ部を動かすときは、必ず枠の部分を持ってください。液晶パネルに手を当てて力を加えると、破損の原因になります。

■高さ調整

1. スタンドの長さをゆっくりと調整する。

■角度調整

各部の名前とはたらき

① INPUTボタン .... 信号の入力端子を切り換えます。（11ページ）
② MENUボタン .... 調整メニューの表示、切り換え、消去を行います。（14～17ページ）
③ ▼ / MODEボタン .... 調整メニューが表示されているときは、調整項目の選択に使います。（15ページ）
調整メニューが表示されていないときは、表示モードを設定します。（13ページ）
④ ◀ ▶ ボタン .... 調整メニューが表示されているときは、調整項目の選択や調整値の増減に使います。
調整メニューが表示されていないときは、バックライトの明るさを調整します。
（12ページ）
⑤ 電源ランプ .... 通常表示時は緑色に、待機時はオレンジ色に点灯します。
⑥ 電源ボタン（ ⏻ ）............... 電源の入／切を行います。（10、11ページ）
⑦ 主電源スイッチ
⑧ 電源端子 .... 付属の電源コードを接続します。（10ページ）
⑨ DVI-D入力端子 .... 付属のデジタル信号ケーブルを使って、コンピュータのデジタルRGB出力端子と接続します。（9ページ）
（INPUT 2）
※ デジタル接続の場合、DVI準拠の出力端子（DVI-D24ピンまたはDVI-I29ピン）を持ち、UXGA出力が可能なコンピュータと接続することができます。（ただし、接続するコンピュータによっては正しく表示されないことがあります。）
⑩ アナログRGB入力端子 .... 付属のアナログ信号ケーブルを使って、コンピュータのアナログRGB出力端子と接続します。（9ページ）
（INPUT 1）
⑪ 盗難防止ホール（ K ）....... 市販の盗難防止ロックを接続すると、本体を持ち運べないように固定することができます。盗難防止ホールは、Kensington社製マイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。
⑫ ケーブルクランプ取り付け穴 .... ケーブルクランプを取り付けて、ケーブルをまとめるときに使います。（5ページ）
⑬ 通風孔 .... 機器内部の熱を放出するためのものです。
※ 通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、故障の原因になります。

接続・電源入／切

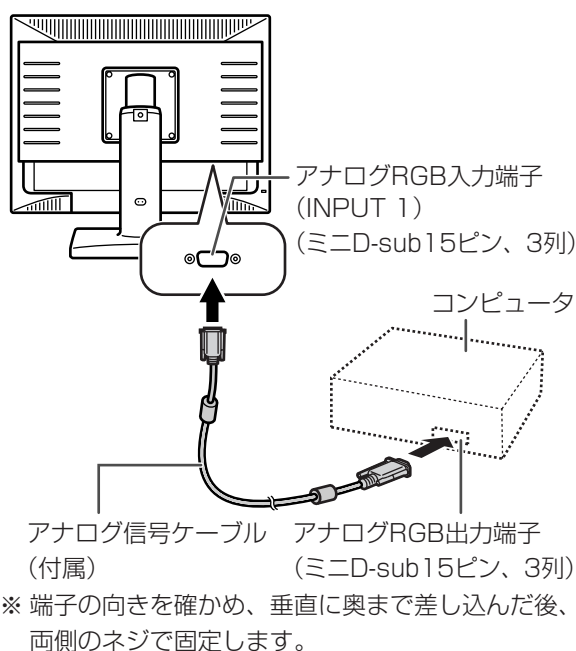
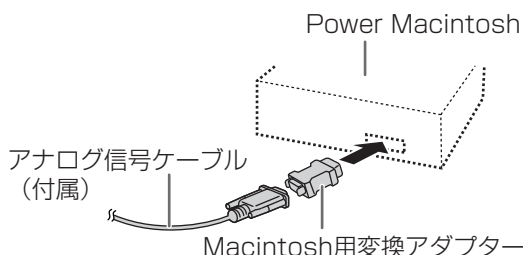
! ご注意

※ 接続は、本機およびコンピュータの電源を切った状態で行ってください。
※ ケーブルを無理に曲げたり、ケーブルに力が加わらないようにしてください。断線などの故障の原因になります。

コンピュータの接続

■アナログ接続

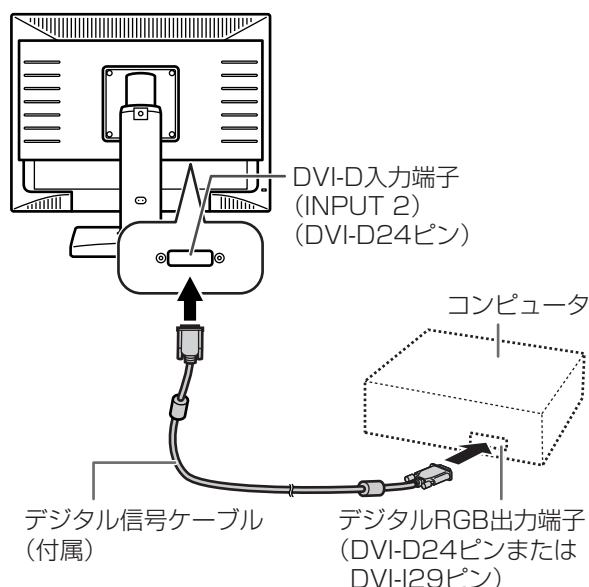
アナログ信号ケーブル(付属)を使って、コンピュータのアナログRGB出力端子と接続します。

※ 端子の向きを確かめ、垂直に奥まで差し込んだ後、両側のネジで固定します。

Power MacintoshのアナログRGB出力端子がD-sub15ピン2列の場合、Macintosh用変換アダプター(市販)を取り付けます。

? Memo

※ Sun Ultraシリーズに接続する場合、変換アダプター(市販)が必要になることがあります。

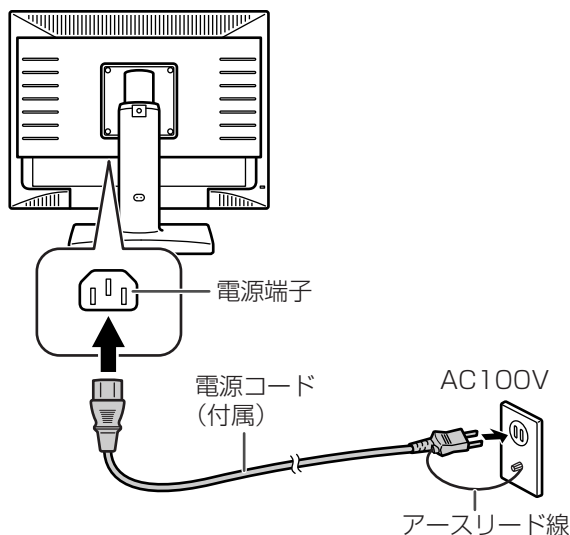
■デジタル接続

デジタル信号ケーブル(付属)を使って、コンピュータのデジタルRGB出力端子と接続します。

※ DVI準拠の出力端子(DVI-D24ピンまたはDVI-I29ピン)を持ち、UXGA出力が可能なコンピュータと接続することができます。(ただし、接続するコンピュータによっては正しく表示されないことがあります。)

※ 端子の向きを確かめ、垂直に奥まで差し込んだ後、両側のネジで固定します。

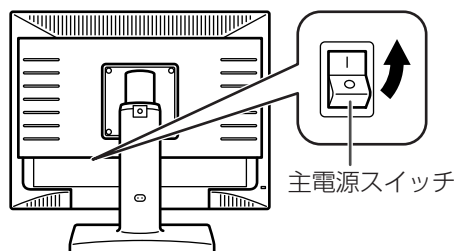
電源の接続

⚠ 注意　電源は、AC100V(50/60Hz)のコンセントを使用してください。指定以外の電源を使用すると、火災の原因になることがあります。

電源コードは、必ず付属のものを使用してください。

⚠ 警告　アースを接続してください。アースが接続されない状態で万一故障した場合は、感電のおそれがあります。

- アースリード線をコンセントの他の電極に挿入・接触させないでください。
- アースの接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。また、アースを外す場合は、必ず先に電源プラグをコンセントから抜いてください。
順番が異なると感電の原因となります。

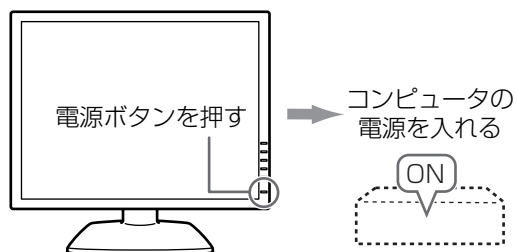
電源の入れ方

1. 本機の主電源を入れる。

! ご注意

※ 主電源スイッチの切／入は、必ず約5秒以上の間隔を空けてください。急に電源を入れると、故障や誤動作の原因になります。

2. 本機の電源ボタン(⏻)を押す。

3. コンピュータの電源を入れる。

電源ランプが緑色に点灯し、画面が表示されます。

※ 電源を入れた後、画面が表示されるまでに少し時間がかかることがあります。

※ コンピュータが接続されている入力端子が選択されていないと、画面は表示されません。必要に応じて、入力端子を切り換えてください。（11ページ）

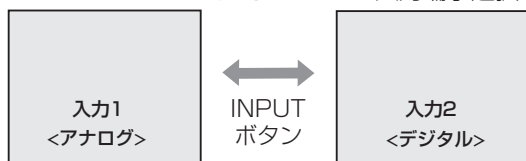
? Memo

※ アナログ接続の場合、本機を初めて使用するときや、使用中のシステムの設定を変更したときは、画面の自動調整（14ページ）を行ってください。
（デジタル接続でお使いの場合は、特に調整の必要はありません。）

※ 接続先のコンピュータにセットアップ情報・ICCプロファイル（Windows）やColorSyncプロファイル（MacOS）をインストールする場合は、CD-ROM（付属）のReadmeJをご覧ください。

※ ノートパソコンと接続して、ノートパソコン画面と同時表示するように設定されていると、MS-DOS画面が正しく表示できないことがあります。その場合は、本機のみの表示となるように設定してください。

入力端子の切り換え

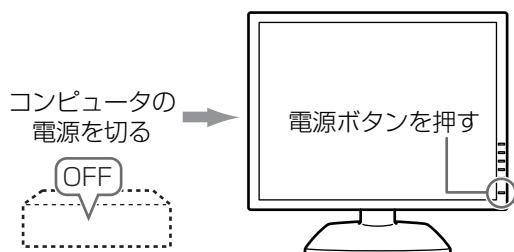
INPUTボタンで、信号の入力端子を切り換えます。

? Memo

※ 入力信号がない場合、「入力信号がありません」と表示されます。

電源の切り方

1. コンピュータの電源を切る。

2. 本機の電源ボタン(⏻)を押す。

電源ランプが消灯します。

長時間使用しないときは、本機の主電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

画面の調整

アナログ接続時

1. 初めに自動調整をする。（14ページ）
2. 必要に応じて手動調整をする。（15ページ）

デジタル接続時

基本的には、調整をしなくてもお使いいただけます。
必要に応じて手動調整ができます。（15ページ）

? Memo

※ 調整内容は、電源を切っても保持されます。

■調整値のオールリセット

すべての調整値を、工場出荷時の状態に戻すことができます。

1. 本機の電源を切る。

2. MENUボタンと ▼ / MODEボタンの両方を押しながら、電源ボタンを押す（電源を入れる）。
画面に「オールリセット中」と表示されるまで押し続けてください。メッセージの表示が消えると、リセットは完了です。

? Memo

※「オールリセット中」の表示中は、操作ボタンは効きません。
※ 調整ロックが設定されている場合、オールリセットはできません。調整ロックを解除してから操作してください。

■画面調整メニューのリセット

アナログ接続時の画面調整メニュー（クロック、フェーズ、水平位置、垂直位置）の調整値を、工場出荷時の状態に戻すことができます。

1. 本機の電源を入れる。

2. MENUボタンと ◀ ボタンの両方を押す。
画面に「リセット中」と表示されて、リセットが完了します。

? Memo

※「リセット中」の表示中は、操作ボタンは効きません。
※ 調整ロックが設定されている場合、リセットはできません。調整ロックを解除してから操作してください。

■調整ロック機能

電源ボタン以外の操作ボタンを効かなくして（ロック設定）、調整後の内容の変更を防ぐことができます。

1. 本機の電源を切る。

2. MENUボタンを押しながら、電源ボタンを押す（電源を入れる）。
画面に「調整ロックを設定しますか？」と表示されるまで、ボタンを押し続けてください。

3. ▶ ボタンを押す。

調整ロックの解除

1. 本機の電源を切る。

2. MENUボタンを押しながら、電源ボタンを押す（電源を入れる）。
画面に「調整ロックを解除しますか？」と表示されるまで、ボタンを押し続けてください。

3. ▶ ボタンを押す。

バックライトの明るさ調整

1. 調整メニューが表示されていない状態で、 ◀ ボタンまたは ▶ ボタンを押す。

明るさ　３１

2. ◀ ボタン（暗くする）、 ▶ ボタン（明るくする）を押して調整する。
調整用の画面は、最後のボタン操作から数秒後、自動的に消えます。

表示モードの設定

表示の色合いや明るさをボタン操作一つで変えることができます。

標準　液晶モニター本来の色合いを生かした表示になります。

オフィス　輝度を下げて表示します。（消費電力が下がります。）

sRGB　IEC（International Electrotechnical Commission）が規定した色再現性の国際規格です。液晶の特性を考慮した色変換が行われ、原画像に基づいた色合いでの表示になります。

あざやか　原色をダイナミックに表示します。

※「sRGB」または「あざやか」に設定すると、調整メニューの「色温度」は「標準」に、「ガンマ」は「0」になります。

設定方法

調整メニューが表示されていない状態で、▼ / MODE ボタンを押します。ボタンを押すごとに、標準 → オフィス → sRGB → あざやか → 標準 … と変わります。

設定用の画面は、最後のボタン操作から数秒後に自動的に消えます。

製品情報の確認

本機の型名と製造番号を確認することができます。

1. 本機の電源を切る。

2. ▼ / MODE ボタンを押しながら、電源ボタンを押す（電源を入れる）。
製品情報が表示されます。

3. MENUボタンを押す。
製品情報の表示を終了します。

画面の自動調整(アナログ接続時)

画面調整メニューのクロック、フェーズ、水平位置、垂直位置を自動的に調整します。

? Memo

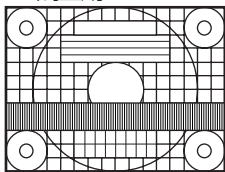
※ 本機を初めて使用するときや、使用中のシステムの設定を変更したときは、ご使用の前に自動調整を行ってください。
※ デジタル接続している場合は、自動調整をしなくてもお使いいただけます。

■調整のための画面表示について

画面調整メニューや映像調整メニューを調整する場合は、あらかじめ画面全体が明るくなるような画像を表示してください。
Windowsをお使いの場合は、CD-ROM(付属)内の調整用パターン(Windows専用)を利用してください。

調整用パターン(Windows専用)の呼び出し方

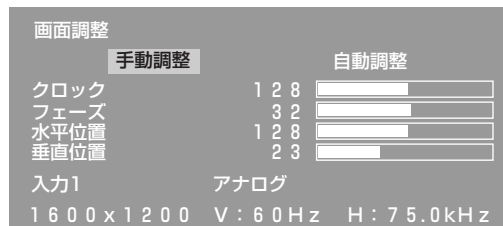
1. **CD-ROM(付属)をコンピュータのCD-ROMドライブにセットする。**
2. **「マイコンピュータ」のCD-ROMを開く。**
3. **「Adj_uty.exe」をダブルクリックして、調整用プログラムを起動する。**
   調整用パターンが表示されます。

<調整用パターン>

4. **調整が終わったら、コンピュータの[Esc]キーを押して、調整用プログラムを終了する。**

? Memo

※ 使用するコンピュータの表示モードが6万5千色の場合、カラーパターンの各色の階調が異なって見えたり、グレースケールが色付きに見えることがあります。(入力信号の仕様によるもので、故障ではありません。)

■自動調整のしかた

1. **MENUボタンを押す。**
   画面調整メニューが表示されます。

2. **▶ ボタンを押して、「自動調整」を選択する。**
   画面が黒くなり、「自動調整中」と表示され、数秒後に画面調整メニューに戻ります。
   (これで自動調整は完了です。)
3. **MENUボタンを5回押して、調整メニューを消す。**

? Memo

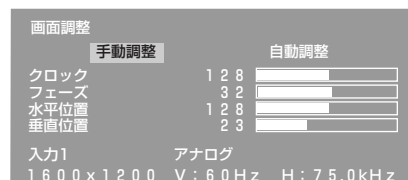
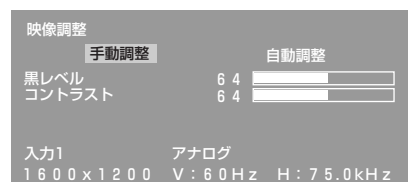
※ 通常は、自動調整だけでご使用いただけます。
※1回の自動調整では、正しく調整できないことがあります。その場合は、自動調整を2~3回繰り返してみてください。
※ 自動調整後、次のような場合は必要に応じて手動調整を行ってください。(15ページ)
- さらに微調整が必要なとき
- 「自動調整できませんでした」と表示されたとき(画面全体が極端に暗い場合など、表示中の内容によっては自動調整ができないことがあります。再度、自動調整をする場合は、調整用パターンを利用するか、画面全体が明るくなるような画像に変えてみてください。)
- コンピュータからの信号がコンポジット・シンクやシンク・オン・グリーンのときなど(自動調整では正しく調整できないことがあります。)

※ 動画やMS-DOSプロンプトなど、画面によっては自動調整が正しく行われないことがあります。

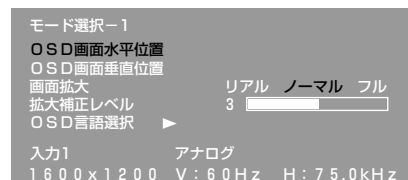
画面の手動調整

1. **画面調整メニューや映像調整メニューを調整する場合は、画面全体が明るくなるような画像を表示する。**
   （14ページ）
2. **MENUボタンを押して、調整メニューを表示する。**

画面調整メニュー

▼ / MODEボタンで調整項目を選びます。

↓ MENUボタン

映像調整メニュー

▼ / MODEボタンで調整項目を選びます。

↓ MENUボタン

カラー調整メニュー

▼ / MODEボタンで調整項目を選びます。

↓ MENUボタン

モード選択ー1メニュー

▼ / MODEボタンで調整項目を選びます。

↓ MENUボタン

モード選択ー2メニュー

▼ / MODEボタンで調整項目を選びます。

↓ MENUボタン

調整メニュー終了

Memo

※ デジタル接続でお使いの場合、画面調整メニューと映像調整メニューを調整する必要はありません。
※ 調整メニューは、最後のボタン操作から約30秒後、自動的に消えます。
※ 本書では、調整用パターン（Windows専用）を利用した調整のしかたを基本に説明します。

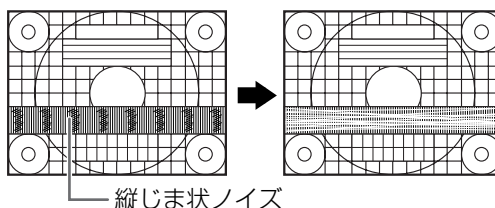
■画面調整メニュー

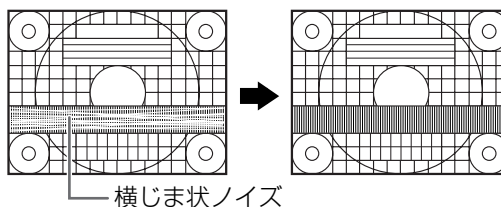
デジタル接続でお使いの場合は、調整する必要はありません。

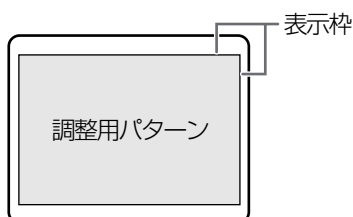
自動調整

▶ ボタンで選択すると、「クロック」「フェーズ」「水平位置」「垂直位置」が自動的に調整されます。

クロック

調整用パターンに縦じま状のノイズが出ないように◀ または ▶ ボタンで調整します。

フェーズ（位相）

調整用パターンに横じま状のノイズが出ないように◀ または ▶ ボタンで調整します。
※「フェーズ」の調整は、必ず「クロック」を正しく調整した後で行ってください。

水平位置、垂直位置

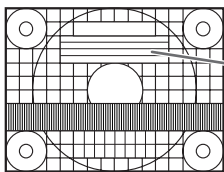
調整用パターンの全体が画面内に表示されるように、左右（水平位置）、上下（垂直位置）の位置を◀ または ▶ ボタンで調整します。

■映像調整メニュー

デジタル接続でお使いの場合は、調整する必要はありません。

自動調整

▶ ボタンで選択すると、「黒レベル」「コントラスト」が自動的に調整されます。自動調整後、必要に応じて手動調整してください。

黒レベル

カラーパターンを見ながら、画面全体の明るさを ◀ または ▶ ボタンで調整します。

カラーパターン

コントラスト

カラーパターンを見ながら、すべての階調が表示されるように ◀ または ▶ ボタンで調整します。

? Memo

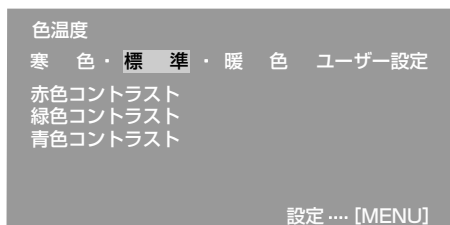
自動調整（オートゲインコントロール機能）について

※ 画面に表示中の最も明るい色と最も暗い色を基準に調整します。
※ 調整用パターンを利用しないときは、5mm×5mm以上の白い部分と黒い部分がある画像を表示してください。表示がない場合は正しく調整できないことがあります。
※ コンピュータからの信号がコンポジット・シンクやシンク・オン・グリーンのときは、自動調整ができないことがあります。その場合は、手動で調整してください。
※「自動調整できませんでした」と表示されたときは、手動調整を行ってください。

■カラー調整メニュー

色温度

① 「色温度」を選択して、 ▶ ボタンを押す。
　色温度メニューが表示されます。

色温度
寒　色・標　準・暖　色　ユーザー設定
赤色コントラスト
緑色コントラスト
青色コントラスト
設定 ···· [MENU]

② ◀ または ▶ ボタンで「寒色」「・」「標準」「・」「暖色」「ユーザー設定」を選ぶ。

寒色 .... 標準設定よりも青みがかった色合い
　• .... 標準設定よりもやや青みがかった色合い
標準 .... 標準設定
　• .... 標準設定よりもやや赤みがかった色合い
暖色 .... 標準設定よりも赤みがかった色合い
ユーザー設定
　「赤色コントラスト」、「緑色コントラスト」、「青色コントラスト」の設定値が表示され、微調整ができます。
　▼ / MODEボタンで「赤色コントラスト」「緑色コントラスト」「青色コントラスト」を選んで調整します。
　赤色コントラスト .... ◀ ボタンで青緑色、▶ ボタンで赤色
　緑色コントラスト .... ◀ ボタンで紫色、▶ ボタンで緑色
　青色コントラスト .... ◀ ボタンで黄色、▶ ボタンで青色

③ MENUボタンを押す。

? Memo

※「標準」以外では、すべての階調を表示することはできません。すべての階調を表示したいときは、「標準」に設定してください。
※「表示モード」が「sRGB」または「あざやか」の場合、「標準」以外に設定することはできません。

ガンマ

暗い画像や明るい画像が見やすくなるように、 ◀ または ▶ ボタンで調整します。暗くて見えにくい場合は数値を上げ、明るくて見えにくい場合は数値を下げます。

※ 「表示モード」が「sRGB」または「あざやか」の場合、ガンマの設定はできません。

■モード選択ー1メニュー

? Memo

※ 入力信号の解像度によっては、項目の選択ができても、表示状態が変わらないことがあります。

OSD画面水平位置

調整メニューの表示位置を ◀ または ▶ ボタンで左右に動かします。

OSD画面垂直位置

調整メニューの表示位置を ◀ または ▶ ボタンで上下に動かします。

画面拡大

入力される画面の解像度が1600×1200ドット未満の場合の表示方法を、◀ または ▶ ボタンで選択します。

リアル........ 拡大しない
ノーマル .... アスペクト比(縦横比)固定で拡大
フル .... 画面全体に拡大
(アスペクト比(縦横比)が変わることがあります。)

※ 拡大しても1600×1200ドットにならない場合は、周囲が黒く表示されます。(故障ではありません。)

拡大補正レベル

画像のシャープさを ◀ または ▶ ボタンで調整することができます。

OSD言語選択

調整メニューの言語を変更することができます。

① 「OSD言語選択」を選択して、▶ ボタンを押す。
言語選択メニューが表示されます。
② ▼ / MODEボタンで言語を選択する。
③ MENUボタンを押す。

■モード選択ー2メニュー

製品情報

本機の型名と製造番号を確認することができます。

①「製品情報」を選択して、 ▶ ボタンを押す。
製品情報が表示されます。
② MENUボタンを押す。
製品情報の表示を終了します。

オフタイマー

一定時間で電源を自動的に切ることができます。

①「オフタイマー」を選択して、 ▶ ボタンを押す。
②「する」「しない」を ◀ または ▶ ボタンで設定する。
「する」の場合は、 ▼ / MODEボタンを押し、◀ または ▶ ボタンで電源が切れる時間を設定します。(1〜23時間の範囲で1時間単位)
③ MENUボタンを押す。

※「する」の場合、電源が切れる5分前から画面右上に残り時間が表示されます。(1分単位で約5秒間)

※ 上記残り時間の表示から電源が切れるまでの操作について

- 時間を延長したいときは、電源ボタンを押します。電源ボタンを押すと、1時間後に電源が切れるようになります。
(次に電源を入れたとき、オフタイマーは上記手順②で設定した時間のままです。)
- 電源を切りたいときは、電源ボタンを2回押します。

※「する」に設定されていると、本機の電源を入れるとき、設定時間が画面に数秒間表示されます。(入力信号が無い場合は「入力信号がありません」と表示されます。)

お手入れ・保管・アフターサービスについて

お手入れのしかた

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

! ご注意

※ シンナー、ベンジン、アルコール、ガラスクリーナーなどは絶対に使用しないでください。変色や変形の原因になります。
※ 硬いものでこすったり、強い力を加えないでください。傷が付いたり、故障の原因になります。

■キャビネットや操作パネル部分

キャビネットや操作パネル部分の汚れは、乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。
汚れがひどいときは、柔らかい布を水で薄めた中性洗剤に浸し、よく絞ってから汚れをふき取ってください。

■液晶パネル部分

液晶パネルの表面の汚れやほこりは、乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。（レンズクリーナーやガーゼなどの柔らかい布でもかまいません。）

? Memo

※ 本機に使用している蛍光管には水銀が含まれています。本機を廃棄する場合は、資源有効利用促進法に基づき、回収・リサイクルにご協力ください。

保管にあたって

長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

! ご注意

※ ゴム製品やビニール製品などと長時間接触させないでください。変色や変形の原因になります。

リサイクルについて

使用済み液晶モニターを有益な資源として再利用するためリサイクルにご協力ください。
リサイクルについては、下記ホームページをご覧ください。
http://www.sharp.co.jp/corporate/eco/recycle/business.html

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、修理を依頼される前に次の点をご確認ください。
それでも正常に動かないときは、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にご連絡ください。

本機で使用している蛍光管には寿命があります。

※ 画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、寿命です。お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にお問い合わせください。
※ ご使用初期において、蛍光管の特性上、画面がチラつくことがあります（故障ではありません）。
その場合は、いったん電源を切り、電源を入れ直してご確認ください。

画面に何も表示されない（電源ランプ消灯）

※ 電源コードは正しく接続されていますか。
（10ページ）

画面に何も表示されない（電源ランプ点灯）

※ コンピュータと正しく接続されていますか。
（9ページ）
※ コンピュータの電源は入っていますか。
※ 信号の入力端子は正しく選択されていますか。
（11ページ）
※ コンピュータの信号タイミングは本機の仕様に合っていますか。（24ページ）
※ コンピュータの省電力機能が動作していませんか。
キーボードのキーを押すか、マウスを動かしてみてください。

操作ボタンが効かない

※ 調整ロックが設定されていませんか。（12ページ）

画面が乱れている

※ コンピュータの信号タイミングは本機の仕様に合っていますか。（24ページ）
※ アナログ信号でお使いの場合、画面自動調整を行ってください。（14ページ）
※ お使いのコンピュータで垂直周波数（リフレッシュレート）が変更できる場合は、低い周波数に変えてみてください。（24ページ）

アフターサービスについて

■製品の保証について

この製品には保証書がついています。保証書は、販売窓口にて所定事項を記入してお渡ししますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。
保証期間はお買いあげの日から3年間です。保証期間中でも修理は有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

■有寿命部品について

本製品の通常の使用において、製品の使用環境（温湿度など）や使用頻度、経過時間等により、劣化／磨耗が進行し、寿命が著しく短くなる可能性のある部品があります。これを「有寿命部品」と呼びます。
本製品には、下記の有寿命部品が含まれています。
ご使用状態によっては早期に部品交換（有料）が必要となる場合があります。

有寿命部品

バックライト
※ ユニット単位の交換になります。

■修理を依頼されるときは

先に「故障かな?と思ったら」をお読みのうえ、もう一度お調べください。それでも異常があるときは、使用をやめて、電源コードをコンセントから抜き、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にこの製品を「お持ち込み」のうえ、修理をお申し付けください。
ご自分での修理はしないでください。たいへん危険です。

保証期間中

保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

アフターサービスについてわからないことは、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

お客様ご相談窓口のご案内(次ページ)

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取り扱い・お手入れについてのご相談やご依頼は、お買いあげの販売店へご連絡ください。
転居や贈答品などで保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記の窓口にご相談ください。

・製品の故障や部品のご購入に関するご相談は…… **修理相談センター** へ
・製品のお取り扱い方法、その他ご不明な点は…… **お客様相談センター** へ

※電話番号、所在地などは変わることがありますので、その節はご容赦願います。(2005 年 11 月現在)

修理相談センター

パソコン修理相談センター

＜受付時間＞※月曜日～土曜日：午前９時～午後６時　※日曜日・祝日：午前 10 時～午後５時 (年末年始を除く)

0570-01-4649

ナビダイヤルは、全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
(注)PHS・IP 電話からは、下記一般電話番号におかけください。

PHS ／ IP 電話の方は一般電話へ...................... 東日本地区 043-351-1831　西日本地区 06-6792-5613

◎ 修理ご依頼品を直接お持ちいただく場合は、お買いあげの販売店、または下記修理受付窓口へお持ち込みください。

＜受付時間＞※月曜日～金曜日：午前９時～午後５時 30 分 (土曜日・日曜日・祝日など弊社休日を除く)

担当地域	拠点名	郵便番号	所　在　地
北 海 道	札幌	〒063-0801	札幌市西区二十四軒１条7丁目３－１７
	帯広	〒080-0011	帯広市西１条南２６丁目１９－１
	室蘭	〒050-0074	室蘭市中島町１－９
	釧路	〒085-0051	釧路市光陽町８－１３
	旭川	〒070-0031	旭川市一条通４丁目左１０
	函館	〒040-0001	函館市五稜郭町３１－１７
青 森 県	青森	〒030-0121	青森市妙見３－３－４
	弘前	〒036-8101	弘前市豊田３－５－１
	八戸	〒031-0802	八戸市小中野２－８－１６
秋 田 県	秋田	〒010-0941	秋田市川尻町大川反１７０－５６
岩 手 県	岩手	〒020-0891	紫波郡矢巾町流通センター南３－１－１
	釜石	〒028-0522	遠野市新穀町３－３
宮 城 県	仙台	〒984-0002	仙台市若林区卸町東３－１－２７
山 形 県	山形	〒990-0023	山形市松波２－６－５
福 島 県	福島	〒963-0111	郡山市安積町荒井方八丁３３－１
	いわき	〒970-8033	いわき市自由ケ丘３７－１０
新 潟 県	新潟	〒950-0993	新潟市上所中１－７－２１
栃 木 県	宇都宮	〒320-0833	宇都宮市不動前４－２－４１
群 馬 県	群馬	〒371-0855	前橋市問屋町１－３－７
茨 城 県	茨城	〒310-0851	水戸市千波町１９６３
埼 玉 県	さいたま	〒331-0812	さいたま市北区宮原町２－１０７－２
東 京 都	江東	〒130-0011	東京都墨田区石原２－１２－３
	城南	〒143-0025	東京都大田区南馬込１－５－１５
	東京	〒114-0013	東京都北区東田端２－１３－１７
	多摩	〒191-0003	日野市日野台５－５－４
千 葉 県	幕張	〒261-8520	千葉市美浜区中瀬１－９－２
	千葉	〒270-2231	松戸市稔台２９５－１
	東千葉	〒289-2132	八日市場市高字東２７７９－４
	木更津	〒299-0115	市原市不入斗１５５５－１
神奈川県	横浜	〒235-0036	横浜市磯子区中原１－２－２３
	湘南	〒254-0013	平塚市田村４－１４－３６
	相模原	〒229-1122	相模原市横山２－２－１２
山 梨 県	山梨	〒400-0049	甲府市富竹２－１－１７
静 岡 県	静岡	〒424-0067	静岡市清水区鳥坂１１７０番１
	沼津	〒410-0062	沼津市宮前町１１－４
	浜松	〒430-0803	浜松市植松町１４７６－２
長 野 県	松本	〒399-0002	松本市芳野８－１４
	長野	〒388-8014	長野市篠ノ井塩崎東田沢６８７７－１
愛 知 県	名古屋	〒454-8721	名古屋市中川区山王３－５－５
	岡崎	〒444-0065	岡崎市柿田町１－２１
	豊橋	〒440-0086	豊橋市下地町橋口１７－１
岐 阜 県	岐阜	〒500-8358	岐阜市六条南３－１２－９
三 重 県	三重	〒514-0131	津市あのつ台４－６－４
富 山 県	富山	〒930-0906	富山市新庄北町５－６３
石 川 県	金沢	〒921-8801	石川郡野々市町御経塚４－１０３
福 井 県	福井	〒918-8206	福井市北四ツ居町６２５
滋 賀 県	滋賀	〒520-2151	大津市栗林町１１－３５
京 都 府	京都	〒601-8102	京都市南区上鳥羽菅田町４８
	北近畿	〒620-0054	福知山市末広町６－１３
大 阪 府	恵美須	〒556-0003	大阪市浪速区恵美須西１－２－９
	大阪	〒547-8510	大阪市平野区加美南３－７－１９
	南大阪	〒597-0062	貝塚市沢１２１５
	北大阪	〒567-0831	茨木市鮎川５－１５－３
兵 庫 県	阪神	〒661-0981	兵庫県尼崎市猪名寺３－２－１０
	姫路	〒671-2222	姫路市青山５－７－７
奈 良 県	奈良	〒639-1103	大和郡山市美濃庄町４９２
和歌山県	和歌山	〒641-0031	和歌山市西小二里２－４－９１
	南紀	〒646-0051	田辺市稲成町８０－２
鳥 取 県	鳥取	〒680-0942	鳥取市湖山町東4-27-1
岡 山 県	岡山	〒701-0301	都窪郡早島町矢尾８２８
島 根 県	松江	〒690-0017	松江市西津田３－１－１０
広 島 県	広島	〒731-0113	広島市安佐南区西原２－１３－４
	東広島	〒739-0142	東広島市八本松東４－３－３０
	福山	〒720-0841	福山市津之郷町津之郷２７２－１
山 口 県	山口	〒754-0024	山口市小郡若草町４－１２
	東山口	〒744-0011	下松市西豊井１７３－１
香 川 県	高松	〒760-0065	高松市朝日町６－２－８
徳 島 県	徳島	〒770-0813	徳島市中常三島町３－１１－１４
愛 媛 県	愛媛	〒791-8036	松山市高岡町１７８－１
高 知 県	高知	〒781-8104	高知市高須１－１４－４３
福 岡 県	福岡	〒816-0081	福岡市博多区井相田２－１２－１
	南福岡	〒839-0812	久留米市山川安居野３－１２－４７
	北九州	〒803-0814	北九州市小倉北区大手町６－１２
長 崎 県	長崎	〒856-0817	大村市古賀島町６１３－３
大 分 県	大分	〒870-0913	大分市松原町３－５－３
熊 本 県	熊本	〒862-0975	熊本市新屋敷３－１５－１７
	天草	〒863-0021	本渡市港町１９－３
宮 崎 県	宮崎	〒880-0007	宮崎市原町４－１２
鹿児島県	鹿児島	〒890-0064	鹿児島市鴨池新町１２－１
	奄美	〒894-0035	名瀬市塩浜町８－１
沖 縄 県	那覇	〒900-0002	那覇市曙２－１０－１
	先島	〒906-0013	平良市下里２１４－４

お客様相談センター

＜受付時間＞※月曜日～土曜日：午前９時～午後６時　※日曜日・祝日：午前 10 時～午後５時 (年末年始を除く)

0120-303-909	※フリーダイヤルがご利用いただけない場合は…			
	東日本相談室	電話 043-351-1822	FAX 043-299-8280	〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2
	西日本相談室	電話 06-6792-1583	FAX 06-6792-5993	〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3-1-72

※ FAX 送信される場合は、お客様へのスムーズな対応のため、形名やお問い合わせ内容のご記入をお願いいたします。

仕　様

■製品仕様

機種名
LL-203G-W（フロスティホワイト）

液晶パネル
20.1型（対角51.0cm）　TFTカラー液晶

最大解像度
UXGA　1600×1200

最大表示色
約1677万色（8ビット）

画素ピッチ
水平0.255mm×垂直0.255mm

最大輝度
270cd/m²
※ 画面の輝度は経年により低下します。一定の輝度を維持するものではありません。

コントラスト比
700：1

視野角
左右178°／上下178°（コントラスト比≧10）

表示画面サイズ
横408.0mm×縦306.0mm

有効画素の割合
99.9996%以上
※ 本製品の液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素などの無効な画素が存在する場合があります。「有効画素の割合」とは、液晶パネルの全画素数のうち、それらの無効な画素を除いた有効な画素の割合を表しています。無効な画素は液晶パネルの故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

映像入力信号
アナログRGB（0.7Vp-p）[75Ω]
デジタルDVI規格1.0準拠

同期入力信号
水平／垂直セパレート（TTL：正／負）、
シンク・オン・グリーン、
コンポジット・シンク（TTL：正／負）

拡大補正
デジタルスケーリング（VGA/SVGA/XGA/SXGAなどをUXGAに補正して拡大表示）
※［拡大しない／アスペクト比（縦横比）固定での拡大／全画面拡大］

プラグ＆プレイ
VESA DDC2B対応

パワーマネージメント
VESA DPMS準拠、DVI DMPM準拠

コンピュータ信号入力端子
アナログ：ミニD-sub15ピン（3列）
デジタル：DVI-D24ピン

高さ調整
調整範囲約60mm

画面角度調整
チルト：上向きに約0°～15°
　　　　下向きに約0°～5°
スイーベル：左右に約30°ずつ

電源
AC100V　50/60Hz

使用温度条件
5℃～35℃

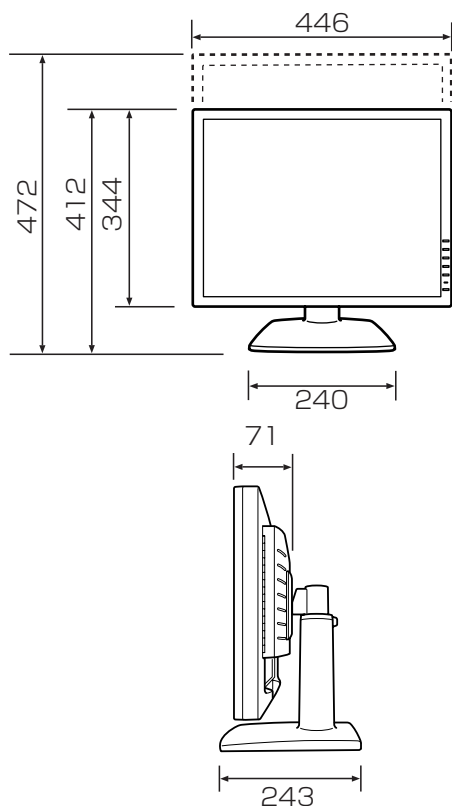
消費電力
最大54W、待機時1W

外形寸法
幅約446mm×奥行約243mm×
高さ約412～472mm

質量（ケーブル類含まず）
約8.2kg
約6.3kg（スタンドを外した場合）

梱包時寸法
幅約536mm×奥行約252mm×高さ約524mm

梱包時質量
約12kg

■外形寸法図（単位mm）

付属ケーブルの長さ

電源コード	：約1.8m
アナログ信号ケーブル	：約1.8m
デジタル信号ケーブル	：約1.8m

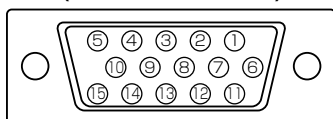
■対応信号タイミング

画面解像度		水平周波数	垂直周波数	ドット周波数	アナログ	デジタル
VESA	640×480	31.5kHz	60Hz	25.175MHz	○	○
		37.9kHz	72Hz	31.5MHz	○	○
		37.5kHz	75Hz	31.5MHz	○	○
		43.3kHz	85Hz	36.0MHz	○	—
	800×600	35.1kHz	56Hz	36.0MHz	○	—
		37.9kHz	60Hz	40.0MHz	○	○
		48.1kHz	72Hz	50.0MHz	○	○
		46.9kHz	75Hz	49.5MHz	○	○
		53.7kHz	85Hz	56.25MHz	○	—
	1024×768	48.4kHz	60Hz	65.0MHz	○	○
		56.5kHz	70Hz	75.0MHz	○	○
		60.0kHz	75Hz	78.75MHz	○	○
		68.7kHz	85Hz	94.5MHz	○	—
	1152×864	67.5kHz	75Hz	108.0MHz	○	○
	1280×960	60.0kHz	60Hz	108.0MHz	○	○
	1280×1024	64.0kHz	60Hz	108.0MHz	○	○
		80.0kHz	75Hz	135.0MHz	○	—
		91.1kHz	85Hz	157.5MHz	○	—
	1600×1200	75.0kHz	60Hz	162.0MHz	○	○
US TEXT	720×400	31.5kHz	70Hz	28.3MHz	○	○
PC-9800シリーズ	640×400	24.8kHz	56.4Hz	21.053MHz	○	—
		31.5kHz	70Hz	25.175MHz	○＊1	○
Power Macintoshシリーズ	640×480	35.0kHz	66.7Hz	30.2MHz	○	—
	832×624	49.7kHz	74.6Hz	57.3MHz	○	—
	1024×768	60.2kHz	75Hz	80.0MHz	○	—
	1152×870	68.7kHz	75Hz	100.0MHz	○	—
	1280×1024	64.0kHz	60Hz	108.0MHz	○	—
		80.0kHz	75Hz	135.0MHz	○	—
	1600×1200	75.0kHz	60Hz	162.0MHz	○	—
Sun Ultraシリーズ	1024×768	48.3kHz	60Hz	64.13MHz	○	—
		53.6kHz	66Hz	70.4MHz	○	—
		56.6kHz	70Hz	74.25MHz	○	—
	1152×900	61.8kHz	66Hz	94.88MHz	○	—
		71.8kHz	76.2Hz	108.23MHz	○	—
	1280×1024	71.7kHz	67.2Hz	117.01MHz	○	—
		81.1kHz	76Hz	134.99MHz	○	—
	1600×1000	68.6kHz	66Hz	135.76MHz	○	—

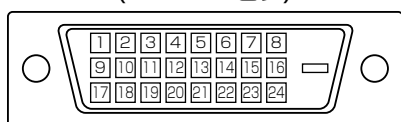
＊1の信号は、「720×400」の信号として表示されます。

※ 推奨解像度は、1600×1200です。
※ すべてノンインターレースのみの対応です。
※ 接続するコンピュータによっては、上記対応信号であっても正しく表示できない場合があります。
※ Power Macintosh、およびSun Ultraシリーズの各周波数は参考値です。また接続には、市販の変換アダプターが必要になることがあります。
※ デジタル接続の場合、DVI準拠の出力端子（DVI-D24ピンまたはDVI-I29ピン）を持ちUXGA出力が可能なコンピュータと接続できます。
※ 本機で対応していない信号タイミングが入力されたときには、「入力信号が対応範囲外です」と表示されます。その場合、お使いのコンピュータの取扱説明書にもとづき、本機で対応している信号タイミングに設定してください。
※ 本機に何も信号（同期信号）が入力されない場合、「入力信号がありません」と表示されます。

■アナログ信号入力端子のピン配列

(ミニD-sub15ピン)

番号	機　能	番号	機　能
1	赤映像信号入力	9	+5V
2	緑映像信号入力	10	GND
3	青映像信号入力	11	N.C.
4	N.C.	12	DDCデータ
5	GND	13	水平同期信号用入力
6	赤映像信号用GND	14	垂直同期信号用入力
7	緑映像信号用GND	15	DDCクロック
8	青映像信号用GND		

■DVI-D入力端子のピン配列

(DVI-D24ピン)

番号	機　能	番号	機　能
1	TMDSデータ2−	13	N.C.
2	TMDSデータ2+	14	+5V
3	TMDSデータ2/4シールド	15	GND
4	N.C.	16	ホットプラグ検知
5	N.C.	17	TMDSデータ0−
6	DDCクロック	18	TMDSデータ0+
7	DDCデータ	19	TMDSデータ0/5シールド
8	N.C.	20	N.C.
9	TMDSデータ1−	21	N.C.
10	TMDSデータ1+	22	TMDSクロックシールド
11	TMDSデータ1/3シールド	23	TMDSクロック+
12	N.C.	24	TMDSクロック−

■パワーマネージメント

本機は、VESA DPMS、DVI DMPM、Energy Starに準拠しています。
パワーマネージメント機能が動作するためには、ビデオカードやコンピュータもこれらの規格に適合している必要があります。

DPMS：Display Power Management Signaling

DPMSモード	画面	消費電力	水平同期	垂直同期
ON STATE	表示	54W	あり	あり
STANDBY	無表示	1W	なし	あり
SUSPEND			あり	なし
OFF STATE			なし	なし

DMPM：Digital Monitor Power Management

DMPMモード	画面	消費電力
Monitor ON	表示	54W
Active OFF	無表示	1W

Energy Star：

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

■DDC（プラグ＆プレイ）

本機は、VESAのDDC（Display Data Channel）規格をサポートしています。
DDCとは、モニターとコンピュータのプラグ＆プレイを行うための信号規格です。モニターとコンピュータの間で解像度などに関する情報を受け渡しします。この機能は、コンピュータがDDCに対応しており、プラグ＆プレイモニターを検出する設定になっている場合に使用できます。
DDCには、通信方式の違いによりいくつかの種類があります。本機は、DDC2Bに対応しています。

VESA規格準拠アームの取り付け方

VESA規格に準拠した市販のアームを取り付けることができます。アームはお客様でご用意ください。

※ 本機に取り付けるアームは、以下の点に注意してお選びください。

- VESA規格に対応し、本機に取り付ける部分のネジ穴間隔が100mm×100mmのもの
- 通風孔をふさがないもの
- 本機を取り付けても、外れたり、倒れたりしないもの

※ ケーブルを無理に曲げたり、ケーブルに力が加わらないようにしてください。断線などの故障の原因になります。

※ 本書とともに、アームに付属の説明書もよくお読みください。

> ⚠注意 **指をはさんだり、スタンドを落としたりしないようにご注意ください。けがの原因になることがあります。**
>
> ⚠注意 **通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、発熱や発火の原因となることがあります。**

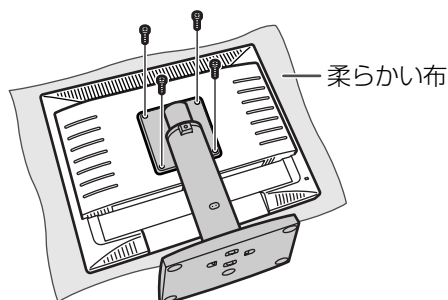
1. ケーブルを取り外す。

2. 安定した水平な机などの上に、柔らかい布などを敷く。

3. 本機を傷つけないように、表示部を下向きにしてゆっくりと置く。

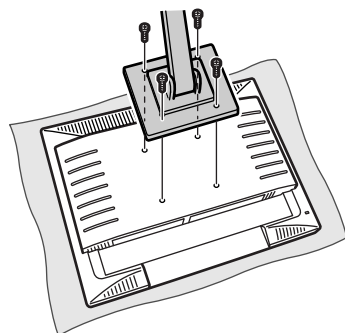
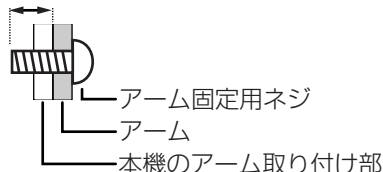
※ スタンドを一番長く伸ばした状態で置いてください。（7ページ）

> ⚠注意 **ディスプレイ部とスタンド部の両方をしっかりと持って、ゆっくりと倒してください。**
> 本機を傾けるときに、スタンドが急に伸びると、けがの原因になることがあります。

4. ネジ(4本)を外して、スタンドを外す。

※ スタンド・台座は本機専用です。取り外したスタンドは他の機器で使用しないでください。

※ 取り外したネジは、スタンド・台座とともに保管し、再度スタンドを取り付けるときは、必ず元のネジを使用してください。別のネジを使用すると、故障などの原因になります。

> ⚠注意 **スタンドを分解しないでください。**
> 部品が飛び出して、けがの原因になることがあります。
>
> ⚠注意 **本体から外したスタンドは、一番長く伸びた状態のまま保管してください。**
> スタンドは伸び縮みします。縮めた状態から急に伸びると、けがの原因になることがあります。

5. アームをネジ(4本)で固定する。

※ 固定用のネジは、アームの取り付け面からの長さが6〜7mmのM4を使用してください。指定以外のネジを使用すると、脱落や、本機内部の破損の原因になります。

●製品についてのお問い合わせは・・			
お客様相談センター **0120-303-909**	フリーダイヤルがご利用いただけない場合は 東日本相談室 西日本相談室	 TEL **043-351-1822** TEL **06-6792-1583**	 FAX **043-299-8280** FAX **06-6792-5993**
《受付時間》　月曜～土曜：午前9時～午後6時　日曜・祝日：午前10時～午後5時　(年末年始を除く)			

●修理のご相談は・・	21ページ記載の『**お客様ご相談窓口のご案内**』をご参照ください。

●シャープホームページ	http://www.sharp.co.jp/lcd-display/

(2005年11月現在)

シャープ株式会社

本　　　　　社　　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号
情報通信事業本部　〒639-1186　奈良県大和郡山市美濃庄町492番地

Printed in China
0NY200184301B ①